

性的マイノリティに関する市民アンケート調査結果

現在の第3次網走市男女共同参画プランの基本方向のひとつに掲げている「性の尊重などの人権についての認識の浸透」のため、網走市における性的マイノリティの方々への生きづらさ解消や、誰もが性別にとらわれることなく、多様な選択ができる社会へ向けての今後の取り組み・課題についてアンケート調査を実施しました。結果は次のとおりです。

1. 調査の内容

(1) 調査対象

市内に居住する満18歳以上の男女2,000人（戸籍上の男性1,000人、女性1,000人）

(2) 調査方法

郵送によるアンケート調査

(3) 回答方法

紙媒体の郵送もしくはGoogleフォームからのWeb回答

(4) 調査期間

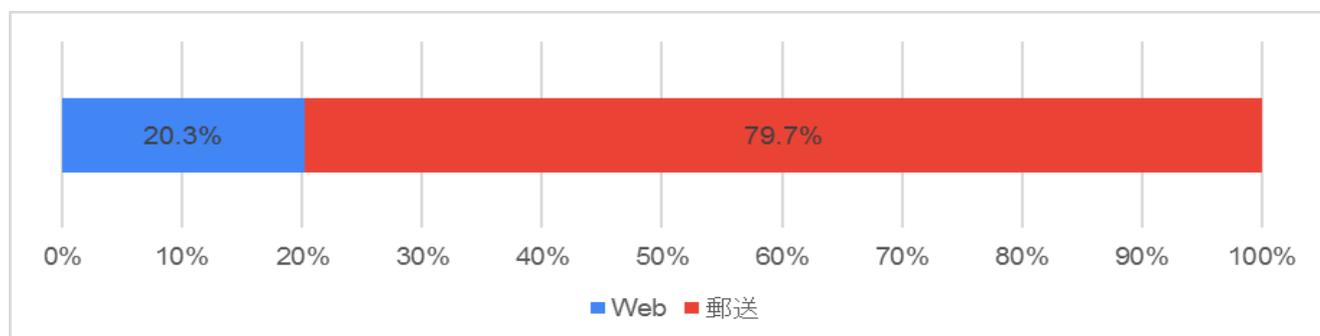
令和5年8月1日から令和5年8月25日

(4) 回答数 513人 回答率25.7%

【参考】R3「男女共同参画」に関する市民アンケート 回答率27.3%

2. 回答方法について

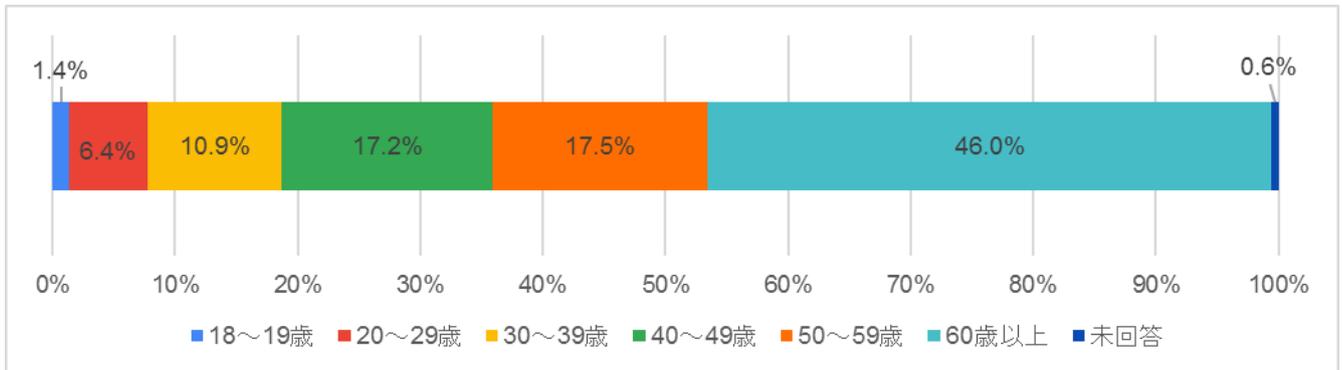
約8割が郵送での回答、約2割がWebからの回答でした。郵送回答のうち、約55%が60歳以上の方からの回答でした。



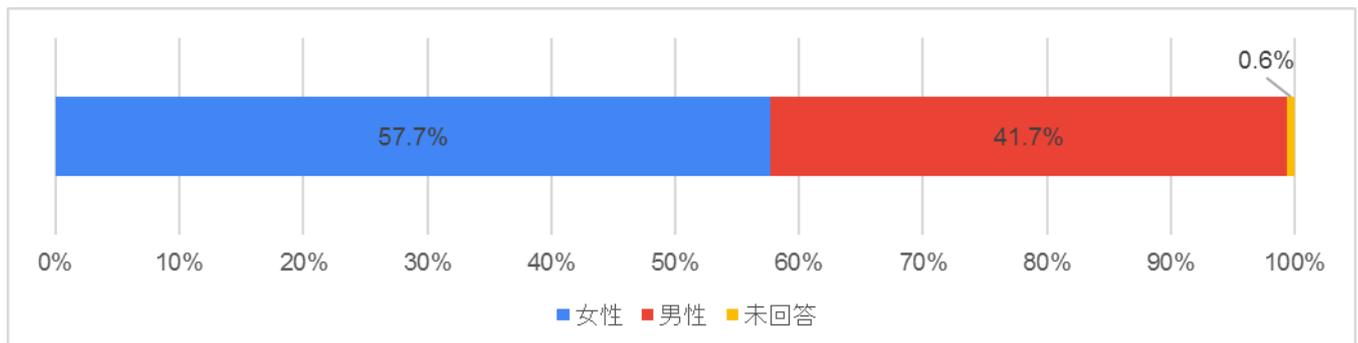
3. 回答内容について

(1) 年齢

各年代別の比率により計 2,000 人に送付し、513 人から回答をいただきました。回答のうち、最も多いのが「60 歳以上」で 46.0%でした。年代別の回答率でも 60 歳以上が最も高く、30.8%でした。

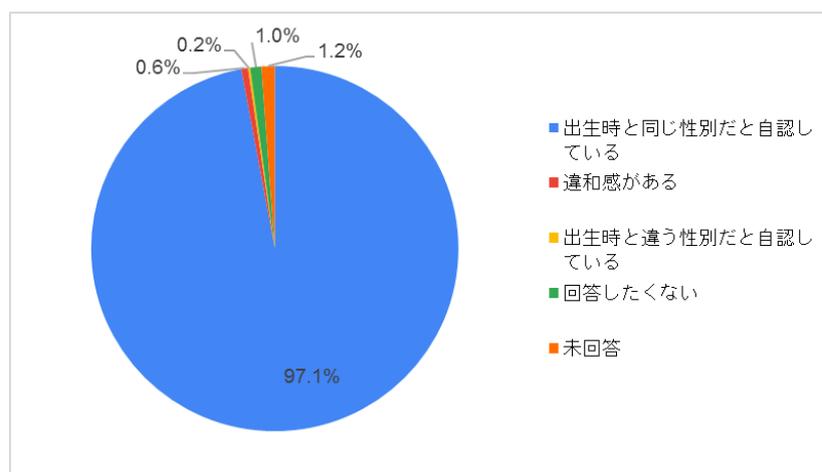


(2) 戸籍上の性別

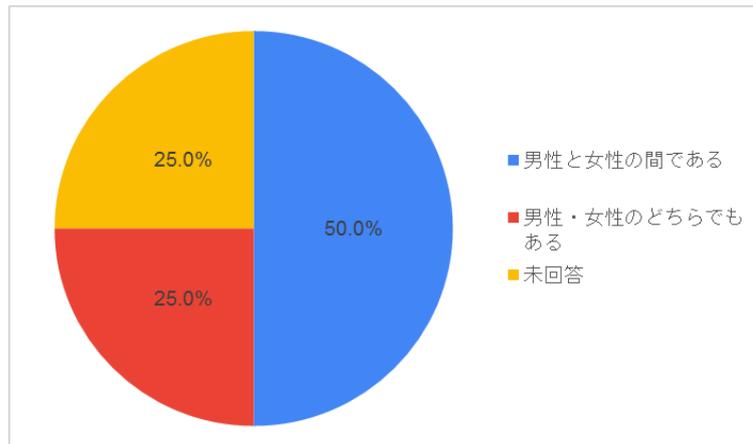


(3) 現在の性自認

※性自認 (Gender Identity) … 「私は女である」、「私は男である」など、自分がどの性別であるか、またはないかという自身の認識



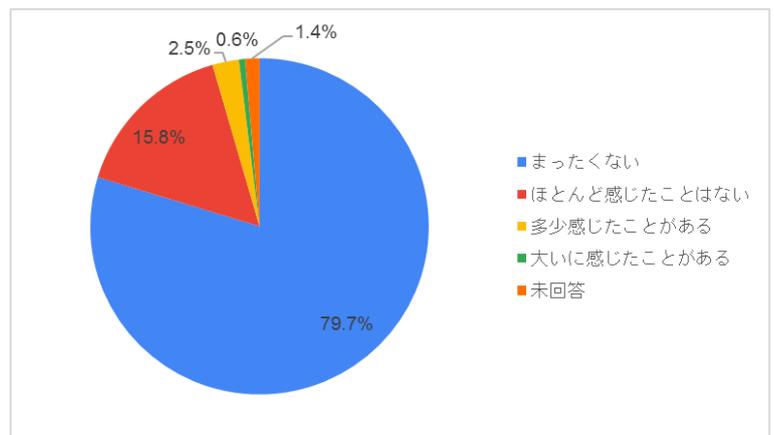
(3-2) 前問で、「違和感がある」または「出生時と違う性別だと自認している」と回答した方の今の認識



(4) 自身の性的指向への違和感

※性的指向 (Sexual Orientation) …恋愛感情や性的な関心が主にどの性に向いているか、または向かないかという概念

「まったく (感じたことが) ない」、「ほとんど感じたことはない」を合わせると 95.5%、「多少感じたことがある」、「大いに感じたことがある」を合わせると 3.1%でした。約 30 人に 1 人が自身の性的指向へ多少なりとも違和感を感じたことがあるという結果がわかりました。



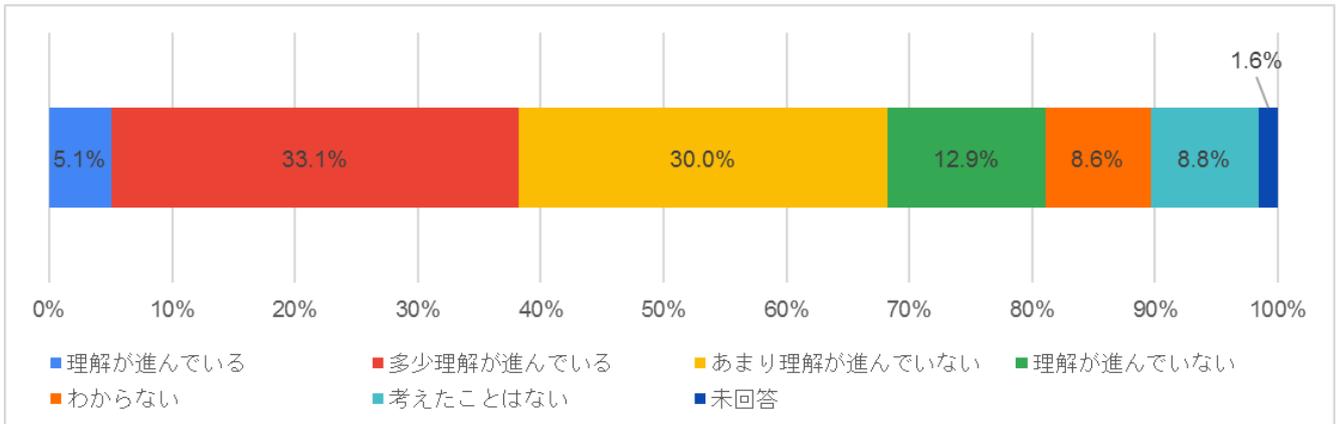
(4-2) 前問で「大いに感じたことがある」または「多少感じたことがある」と回答した方の違和感を感じた場面、事柄

記述 (抜粋)

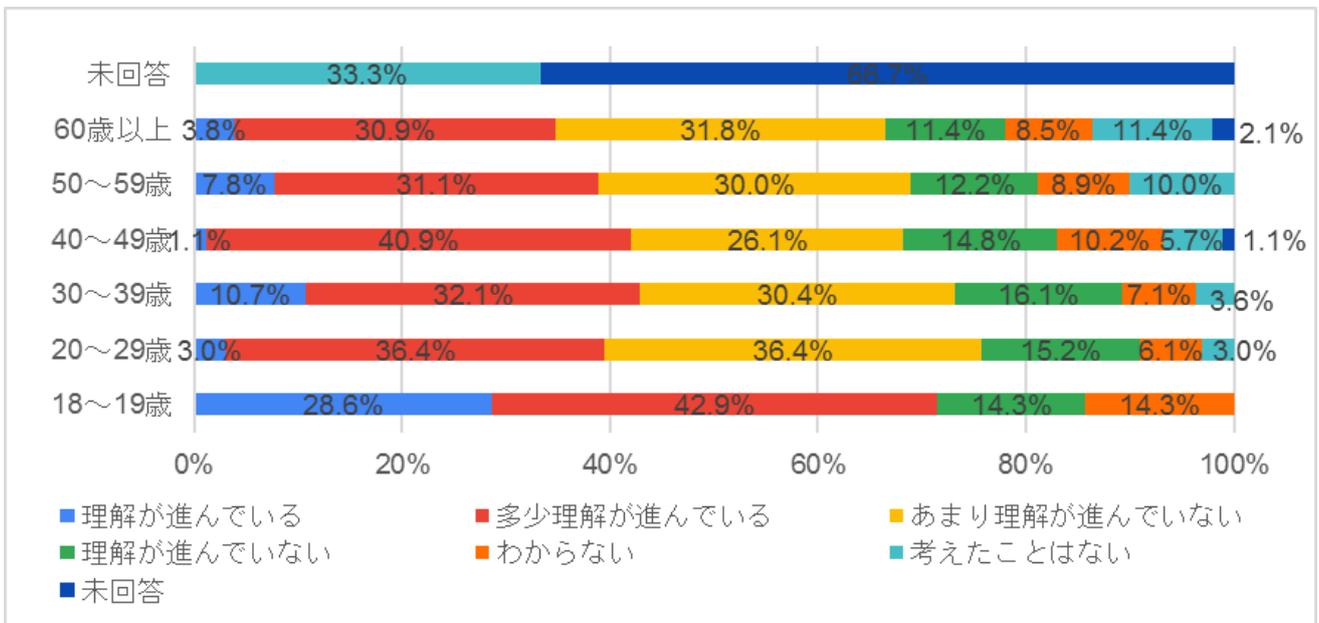
- ・同性に興味を持った事がある
- ・ふと異性だけが自分の恋愛対象と言い切れるのか疑問がわいた
- ・恋愛に興味を持てないこと
- ・女子より男子とよく遊んでいたため
- ・小中学校時代に同級生からしぐさ等を女っぽいなど、いわゆるステレオタイプによって指摘されたことが心に残りっぱなし

(5) 社会全体における性の多様性への理解

◎全体

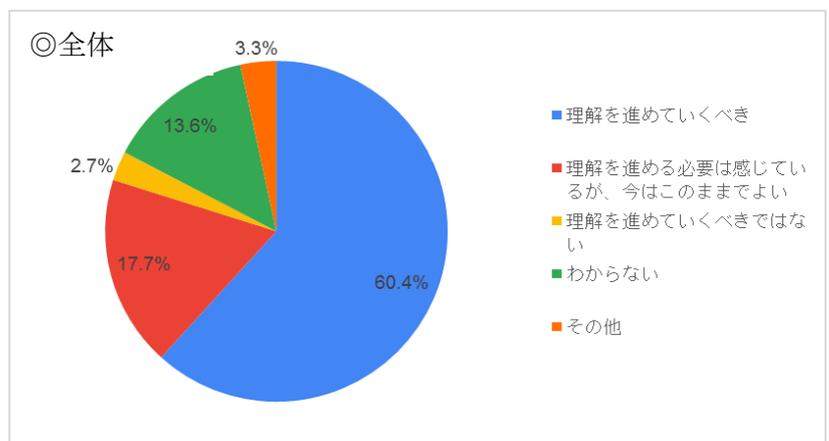


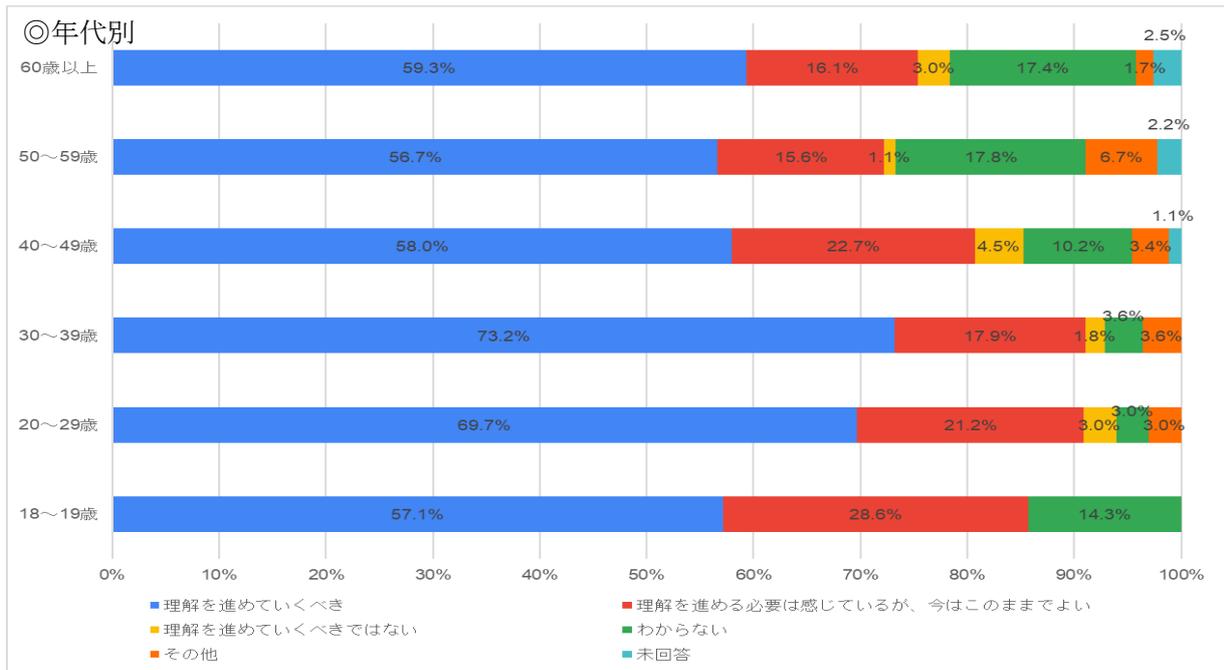
◎年代別



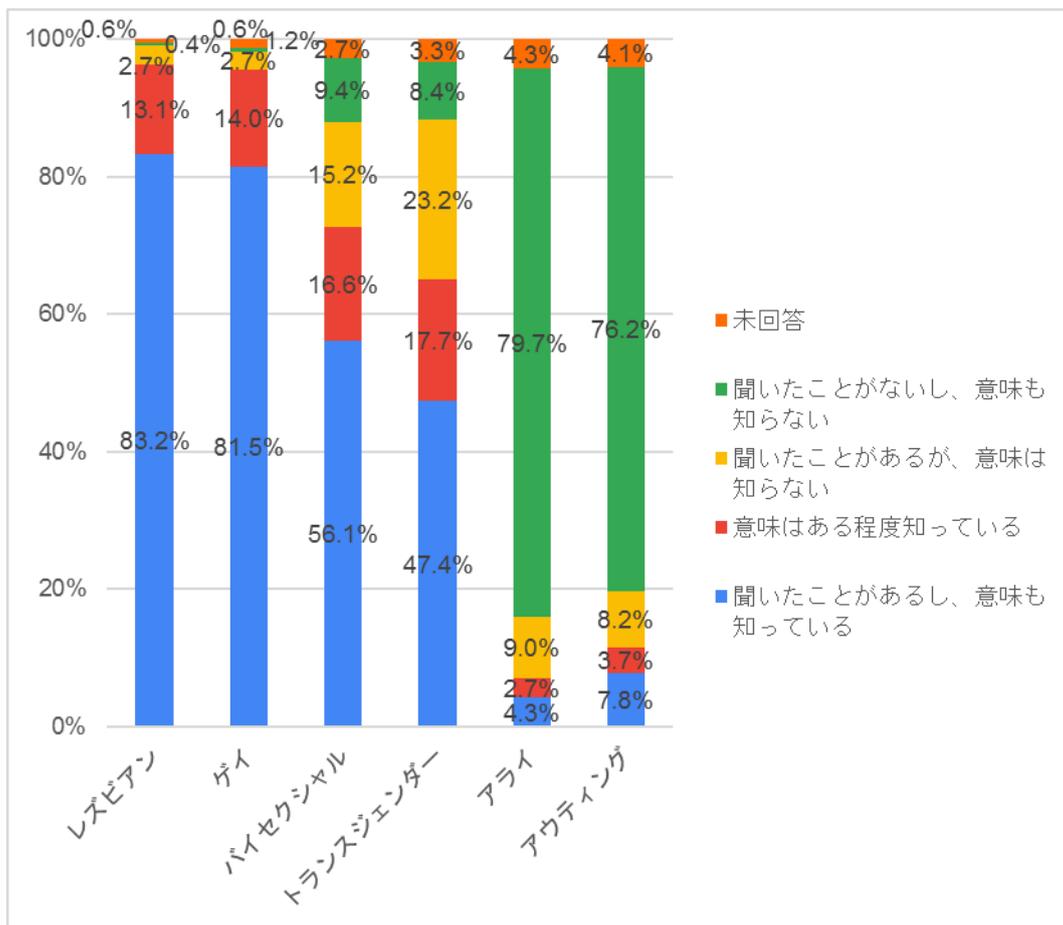
(6) 性の多様性について

全体では、60.4%の方が「理解を進めていくべき」という結果になりました。各年代別では、30歳代が「理解と進めていくべき」で73.2%と一番多く、「理解と進めていくべきではない」は40歳代の4.5%が一番多いという結果になりました。そのほか、「理解と仕組みの両方を進めていくべき」や「便乗した犯罪もありうる事も明確にしないとならない」という意見もありました。





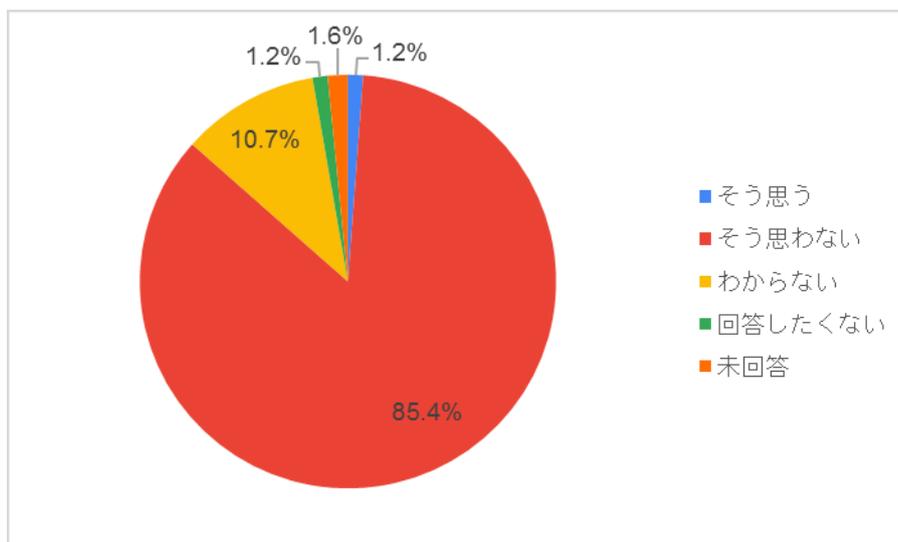
(7) 用語の認知度



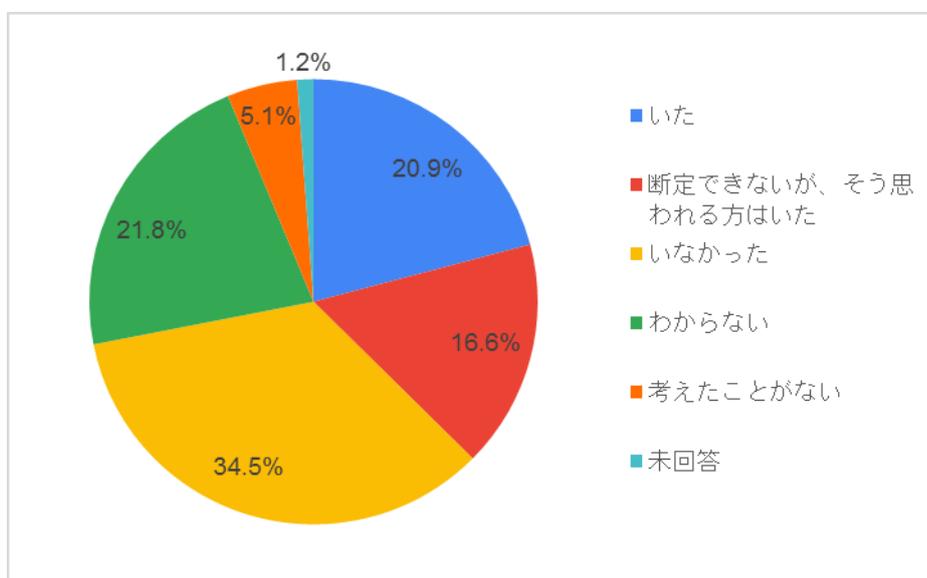
「アライ」、「アウティング」が他の用語と比べ非常に認知度が低いことがわかりました。

(8-1) 自身は性的マイノリティだと思うか

※性的マイノリティ…生物学的な性（からだの性）と性の自己意識（こころの性）が一致しない人や、性的指向（人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念）が同性や両性に向いている人などの社会的に少数派となる人たちのこと



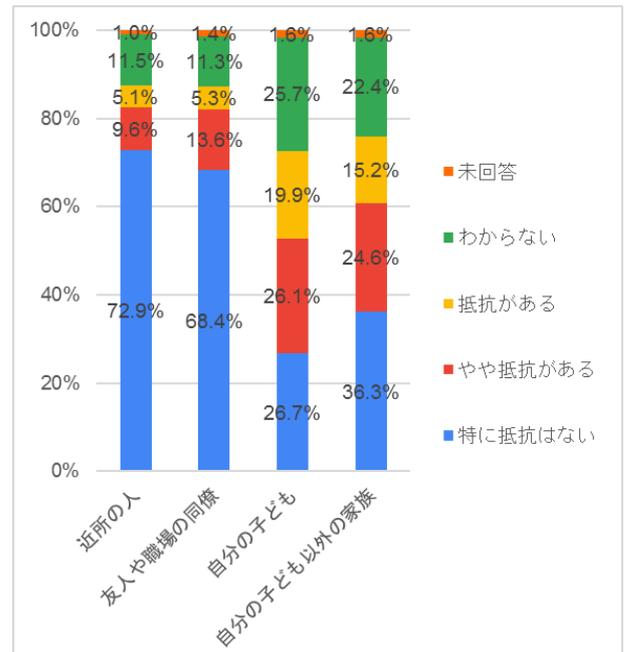
(8-2) 今まで周りに性的マイノリティの方がいたか



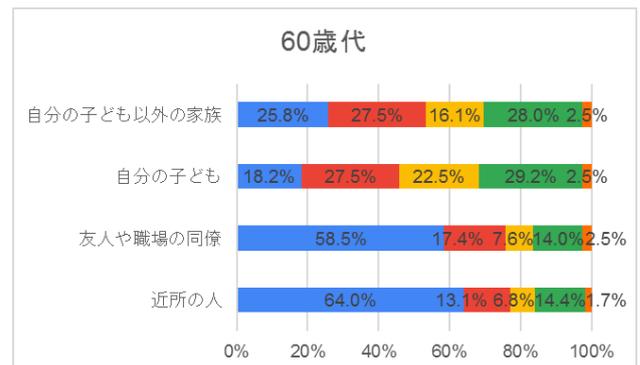
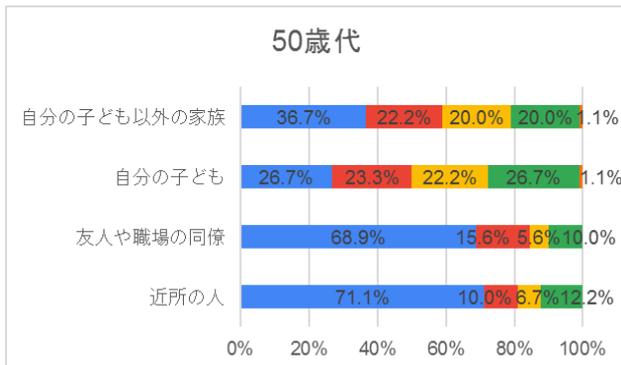
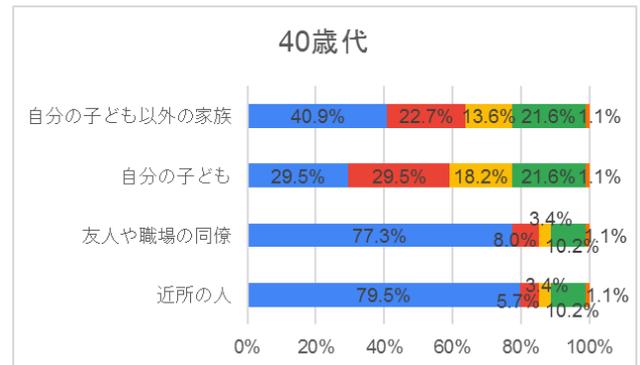
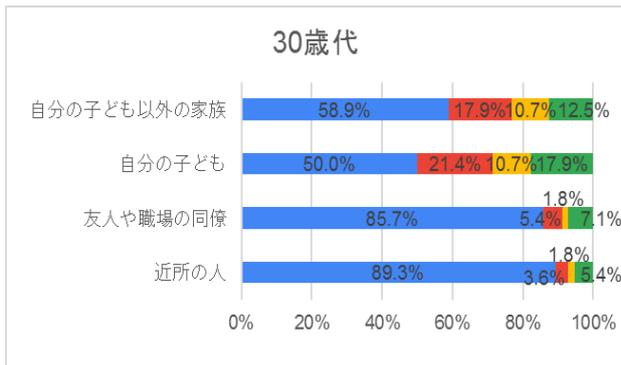
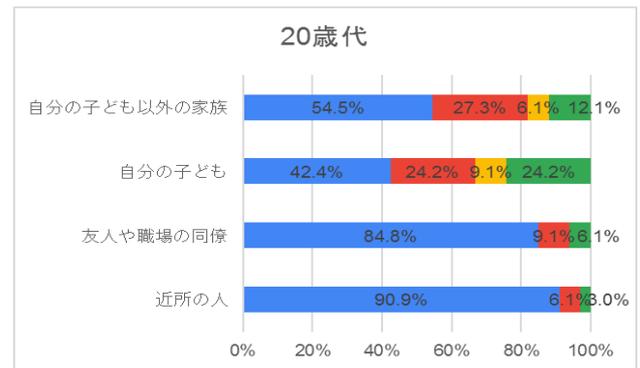
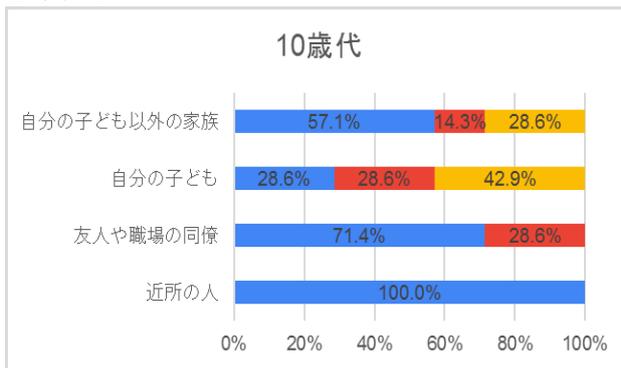
(9) 周りの方が性的マイノリティだとするときの気持ち

◎全体

「近所の人」や「友人や職場の同僚」は約70%の方が「特に抵抗はない」と回答したものの、「自分の子ども」や「自分の子ども以外の家族」といった自分に近い関係になると抵抗を感じる方が多くなることがわかりました。



◎年代別

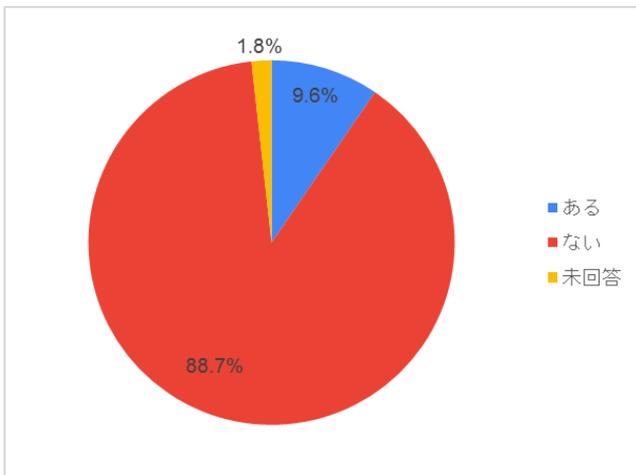


■ 特に抵抗はない ■ やや抵抗がある ■ 抵抗がある ■ わからない ■ 未回答

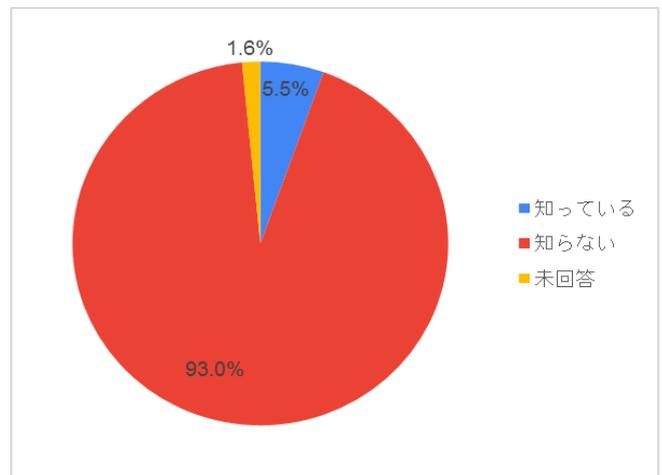
(10) 性的マイノリティの方やご自身が、性的マイノリティであることを理由に見聞き、体験したこと（複数選択可）

選択肢	件数
じろじろ見られたり、避けられたりした	44
学校や職場で嫌がらせをされたり、からかわれたりした	36
性別で区分された設備（トイレなど）が使いにくかった	22
同性のパートナーを家族として認めてもらえなかった	17
申請書など性別欄が男性または女性しかなく、選びにくかった	10
就職・職場で不利益な扱いをされた	6
特にない	361
その他（記述）（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍上の性に合わせた服装での出勤（ネクタイ・背広の着用など）を求められる ・ゲイの男性が世間体の為に結婚したがその後男性の母と妻にバレて離婚したことを私の母から聞いた。 ・カミングアウトして家族に認めてもらえなかった。 ・同性愛者が非同性愛者に恋愛感情を持ってしまって関係がこじれた。 	7

(11) カミングアウトを受けた経験



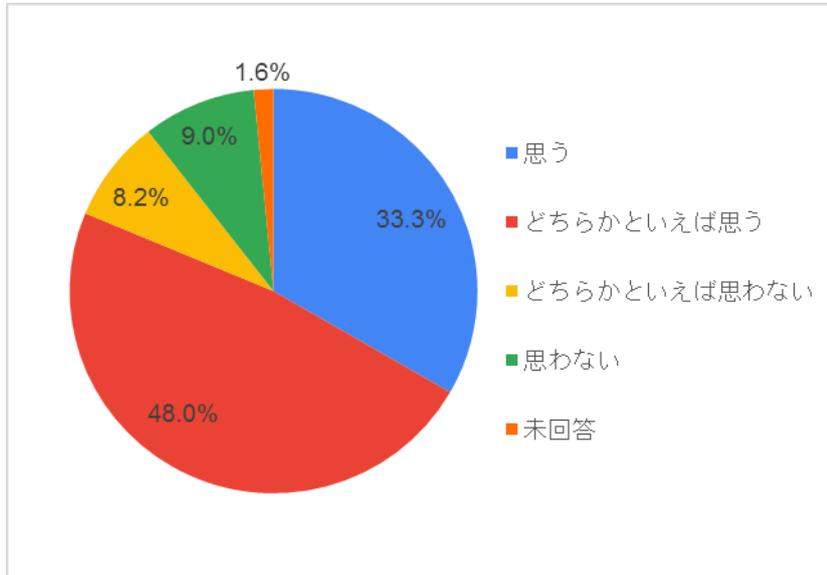
(12) 専門相談機関の認知



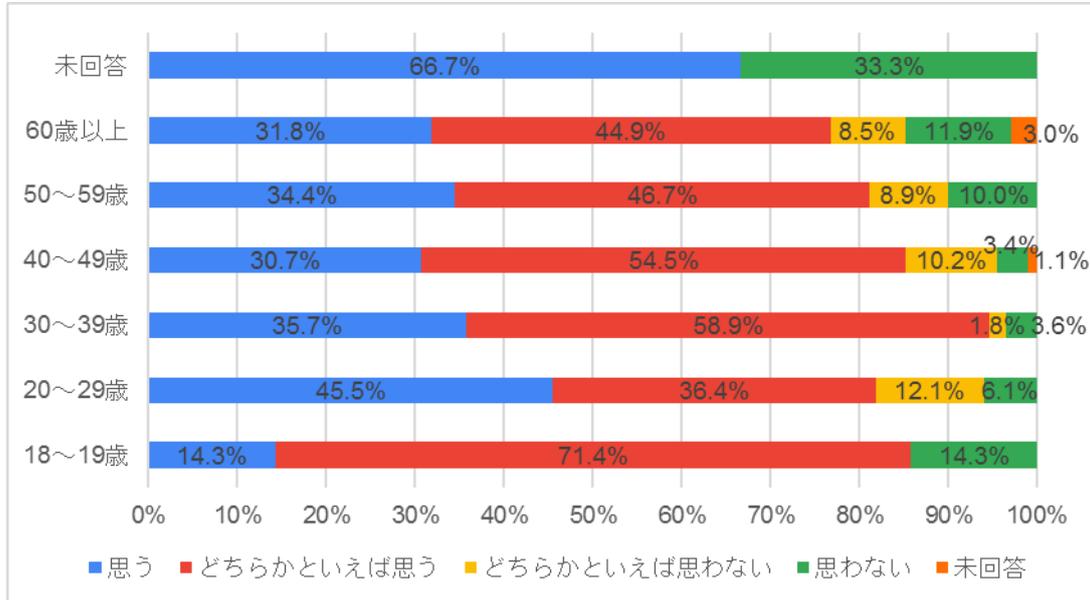
(13) 性的マイノリティの方は生きづらいと思うか

「思う」、「どちらかといえば思う」と回答した方が81.3%、「思わない」、「どちらかといえば思わない」と回答した方が17.2%でした。「思わない」と回答した方のうち、約60%が60歳以上の方でした。

◎全体



◎年代別



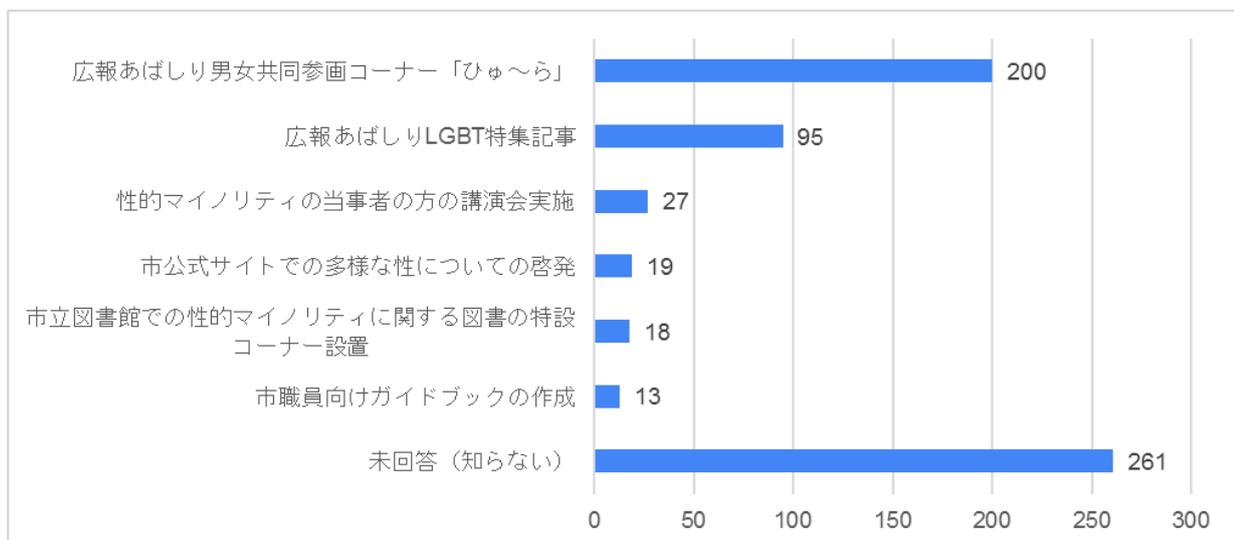
(13-2) 前問で「思う」または「どちらかといえば思う」と回答した方の理由（複数選択可）

選択肢	件数
性的マイノリティに対する差別や偏見、嫌がらせなどが存在していると思うから	316
家族や友人等に相談しづらい状況にあり、周囲に理解してくれる人がいないから	236
性別で区別された制服や設備（トイレ・更衣室等）があり生活しにくいと思うから	231
行政機関などの相談窓口や支援体制が不十分だと思うから	168
就職や職場で不利な扱いをされると思うから	158
医療機関において、家族ではないという理由で病状説明や面会の制限を受けるから	144
申請書類などに男女別の性別記載をすることに抵抗があると思うから	142
理由を考えたことはない	21
未回答	13
<p>その他（記述）（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この間も芸能人の男性がゲイだとファンに泣きながら話していた。外国なら泣かないと思う。 ・私自身は特に気にしていないが、性的マイノリティで会社員の友人と一緒にいると、周囲から交友について意見されることが、度々ある。そのことで、友人が、気をつかうようなことがある。友人が傷ついているのが辛い。 ・性差に意味がない。全て個人差。 ・政治をする人自体が年齢層が高く、若い人達の考え方が反映されてない。だから、多様性に関しての倫理観が古いままなので周りに理解を求めても理解されない雰囲気がある。 	7

(14) 生きづらさ解消のための取り組み（複数選択可）

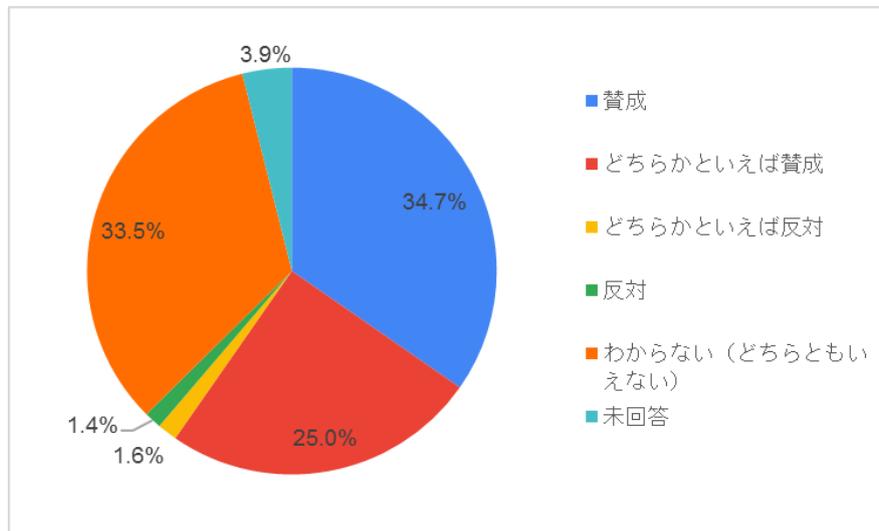
選択肢	件数
教育現場における子どもたちへの配慮、理解促進、教員への研修などの取り組み	280
当事者やその周囲の人々が相談できる専門窓口の整備	246
性的マイノリティに対する理解促進に向けた啓発・広報活動の推進	222
同性または性的マイノリティのパートナーが家族と同様に医療機関における病状の説明や面会、賃貸住宅の入居ができるよう働きかけるなどの取り組み	214
性的マイノリティの方が利用しやすいトイレの整備（多目的トイレ）など	206
企業や行政職員に対する研修などの取り組み	175
わからない	87
その他（記述）（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校や職場などの制服を男女の区別をしない。 ・ 行政が主導した取り組みはいつもズレている。もっと当事者がどう思い、どう考えているかを頭が柔らかい方が考えていく事が必要と考える。また、性的マイノリティと性的嗜好との区別をきちんと付けないと今以上に被害者が増えると思う。 ・ 国や地方自治体が積極的に取り組まなければ、性的マイノリティの方々への解消はすすまないと思います。そういった面ではメディアの発信も大だと思います。 ・ 特に必要ない（2件） 	14

(15) 市の取り組みについて知っているもの



(16) 前問の市の取り組みについての賛否

「わからない（どちらともいえない）」と回答した方のうち、約 65%が前問の市の取り組みを全て知らない方でした。



(17) 性的マイノリティに関する市の取り組みについての意見・要望：回答数 61 件

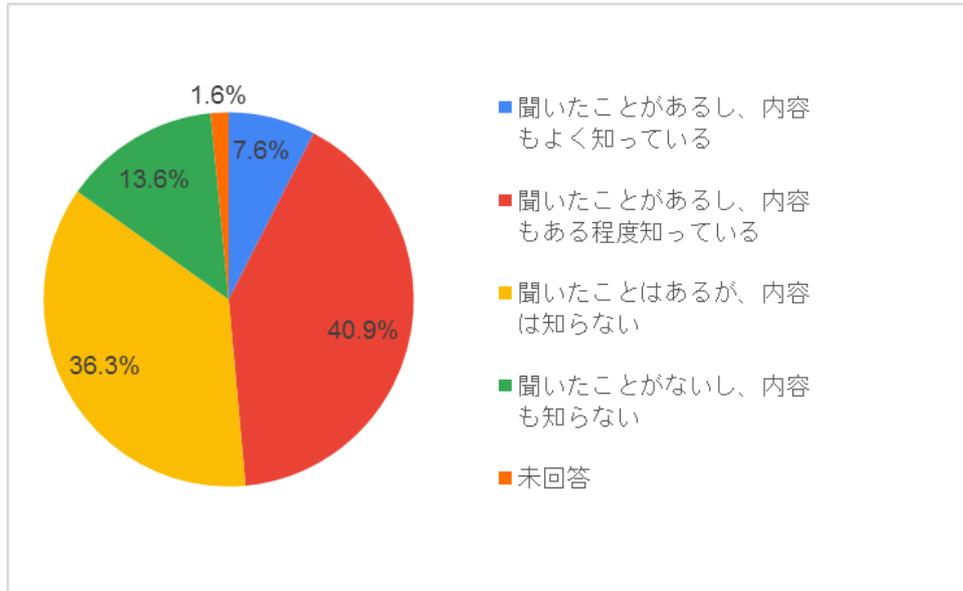
記述（抜粋）

- ・一方的に発信しても、元々興味がある人間しか反応しないと思うので、別の方法も考えていかなくてはならないと思う。関心を持っていない人にこそ働きかけなくてはいけない。
- ・聴聞会など、直接意見交換する機会を増やすとともに、マイノリティ側も積極的に参加できる風土作りをしていけば良いと思う。
- ・個人的には理解をしたいと思うが、今の日本における少子化という大問題を鑑みると国や市が（世界的にも）諸手を上げて大きく取り組むというのは少子化対策としてはどうなんだろうという思いもあり、葛藤しています。
- ・極少数の者に対し、そこまで何かをするという事が判らない。

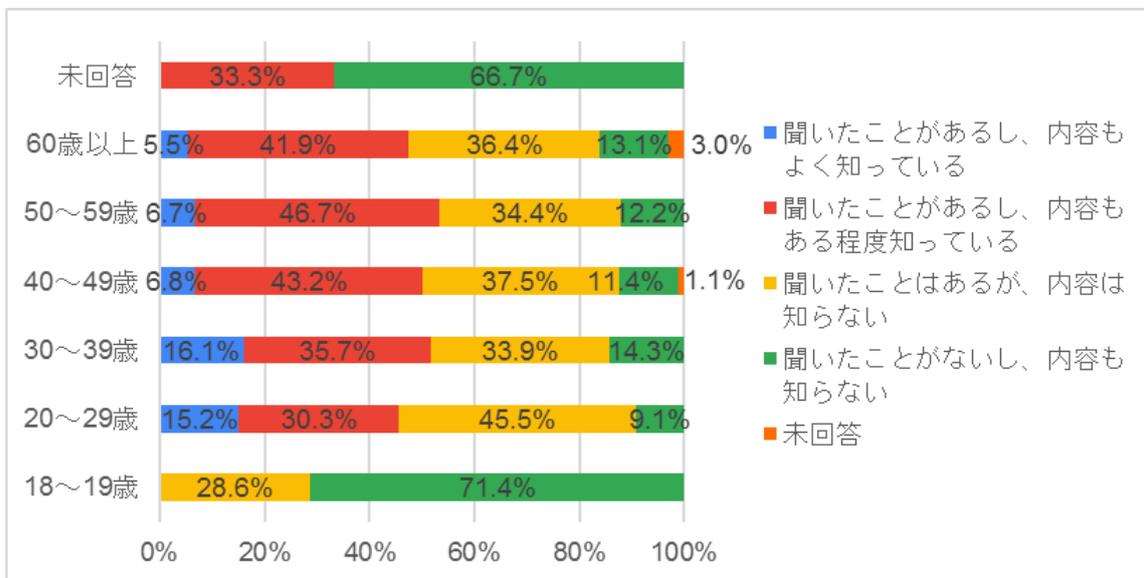
(18) パートナーシップ制度について聞いたことがあるか、内容を知っているか

※パートナーシップ制度…自治体が独自に導入する制度で、同性同士のカップルを婚姻に相当する関係と承認し、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくする制度

◎全体



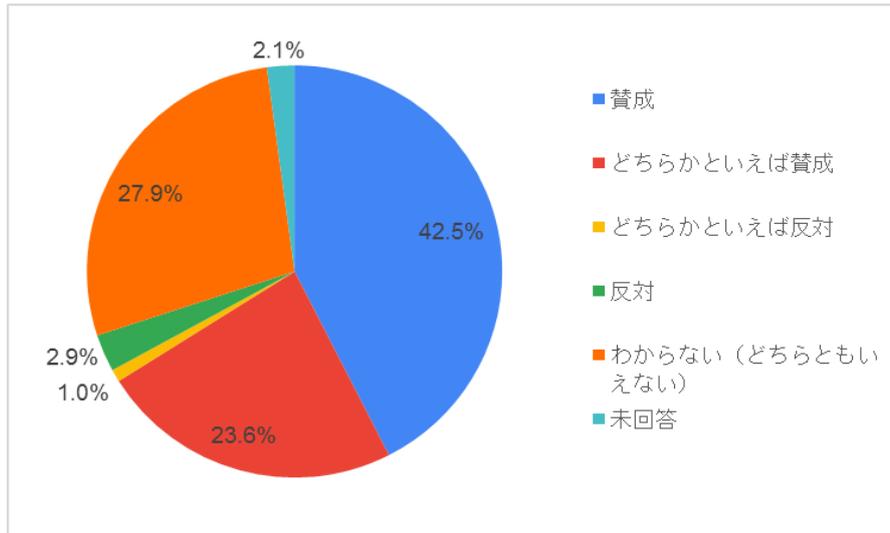
◎年代別



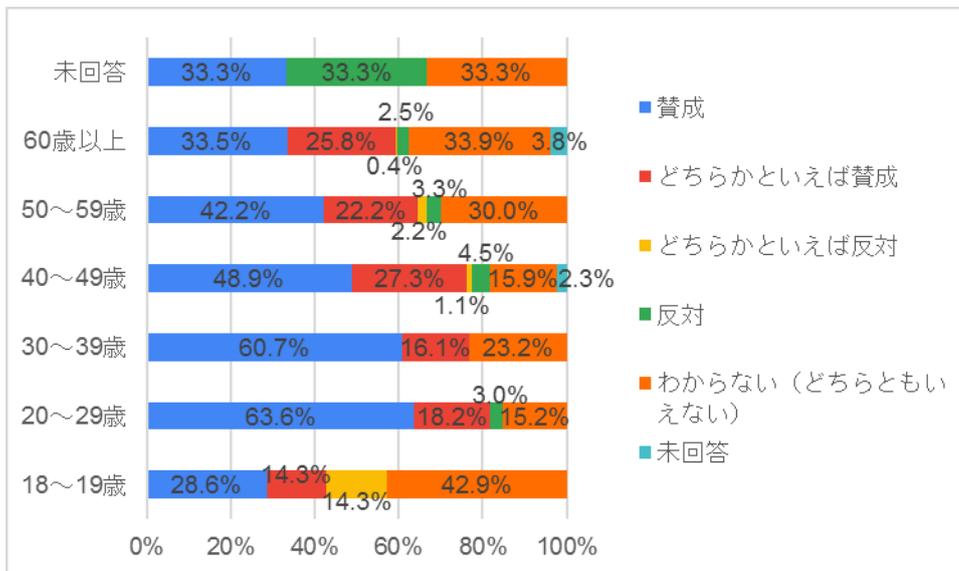
(18-2) パートナーシップ制度の導入について

「賛成」、「どちらかといえば賛成」と回答した方が 66.1%、「反対」、「どちらかといえば反対」が 3.9% という結果になりました。「わからない（どちらともいえない）」と回答した方のうち、約 70%の方が前問で「制度内容を知らない」と回答した方でした。

◎全体



◎年代別



(18-3) 前問を選択した理由 (自由記述) (抜粋)

前問の回答	理由
賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・差別なく誰でも平等に受ける権利があると思うから。 ・人として生きていく上で性に関することで生きづらくなるのは、ちょっと残念に思う。どんな人にも自由に選択できるようにしてあげたいと思いました。 ・パートナーシップ制度の導入は、導入に向けた障害が多い大都市ではなく、人口規模的に導入しやすい地方中小都市が率先してやるべき ・人それぞれパートナーを選ぶことに性別は関係ないと思うので ・制度の導入＝性的マイノリティの方々の幸せではないけれど、選択の幅が広がるのは良いことだと思うので。
どちらかといえ ば賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・性的マイノリティだろうが関係なく、人として平等になっていけば良いと思ったので。 ・上々に浸透しつつあります。少しずつ準備を重ねるといいでしょう。 ・今あるものに追加されるだけなら、誰に対しても選択肢が増えることになるため ・現状、その形を求める方がいらっしゃるが、まだ立法) 的には解決に時間がかかると思うので、それまでのある意味つなぎの要素として必要なと思います。
どちらかといえ ば反対	<ul style="list-style-type: none"> ・不正や犯罪行為への利用が想定されるため
反対	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法上、婚姻は、” 両性の同意とある。” これ以上のものも思考も無いと考えます。市としてあるいは道、国としてももっともっと議論すべき多くの問題があると思います。 ・自分に対応することで十分 ・日本全国共通の制度となってからが良い
わからない (どちらとも いえない)	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者がそれを求めているのかがわからない ・周辺自治体の動きを見てからが良いと思う

(19) 性の多様性を認め合う社会にするため、性的マイノリティの方の生きづらさ解消への取り組み

(自由記述)：回答数 136 件

分類	内容 (抜粋)
教育 (24 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育課程から、性の多様性について子どもたちに知ってもらい理解を深めていく。 ・幼い頃から LGBT に関する教育は行われるべき。また、年配の方にも必要だと思う。
多様性の理解促進 (18 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の理解を得られるような取り組みを強化すべきである。 ・反対している方はなぜ反対なのか、意見を聞くべき。 ・様々な機会を利用して、「性の多様性を認め合う社会」の考え、必要性を知らしめること。
性的マイノリティ当事者からの聞き取り、発信 (15 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に当事者に聞く。その想いを発信して伝えていく。 ・性的マイノリティの方の生きづらさがどんな事があるのかをまず知りたい。
性別によって分けられない施設等の整備 (7 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供達の学校のトイレは男女に分かれているところが多いですが、多目的トイレが小さい頃から身近にある事は良いと思います。制服も男女どちらも着れるパンツタイプなどもあると良いと思います。
正しい知識の普及 (3 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・知らないことで人を傷つけることがないように情報の発信をしてほしい。 ・性的マイノリティ以外にも生きづらい偏見をなくす様に、知識や情報を身につける機会があるといいと思います。
取り組む必要なし (6 件)	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなことで生きづらいと感じているのは、性的マイノリティの方だけではないと思うので特段取り組みは必要ないと感じる
わからない、無い (9 件)	

(20) アンケートに対する感想・意見

自由記述 (抜粋)

- ・まだ少数派であるものの LGBT 等で悩んでいる方への理解・解決へ市として取りくんでいってもらえる一歩としてとても良いと思います。
- ・このアンケートを集めること自体、網走市が先に進めない原因かと思えます。
- ・「アンケートを取った」ということに満足せず、その結果がいかされることを望みます。
- ・アンケート結果では反対意見が多くなるかもしれませんが、結果に左右されず、網走市がこの取り組みを促進していくことを望みます
- ・普段周りには、性的マイノリティの方がいないため考えていなかったのですが、このアンケートを通して少しだけ分かってきた事があります。これからも性的マイノリティの方達が生きやすい社会にしてあげて下さい。
- ・身近にある事だと、改めて感じた。